

どんど焼きと獅子舞で地域の幸せを願う

◎愛治地区どんど焼き

1月9日、清水保育所前河川敷で、愛治活性化集団「来夢」と「母愛夢」が毎年実施する愛治地区のどんど焼きが行われました。

初めに、令和2年に復活した西野々獅子舞保存会による獅子舞が披露され、唄や太鼓に合わせ、2人の踊り手による獅子が軽快に舞いました。神事後、火入れが行われると、地域で飾られたジャンボ門松などのお正月飾りが瞬く間に燃え上がり、地域の人たちは、無病息災、家内安全などを願いました。また、会場では福引きやお餅の配付も行われ、訪れた人たちが笑顔で受け取っていました。



西野々獅子舞保存会の復活

どんど焼きで披露された西野々獅子舞保存会の獅子舞。保存会は、約25年ぶりに西野々地区の有志が昨年復活させました。

約25年前までは、西野々地区の中学生男子が毎年1月1日に西野々の山神王神社で獅子舞を奉納し、地域を1軒ずつ回って舞いを披露していたそうです。しかし、地域の子どもの減少により踊り手がいなくなってしまい、獅子舞は行われなくなっていました。

そんな状況の中、中学生の頃に獅子舞を経験した地域住民らが立ち上がり保存会を復活。保存会には、38歳～70歳の14人が加入し、昨年からは山神王神社と地域を回って獅子舞を奉納しています。

会長の橋本定典さんは「せっかく復活させた保存会。出来る限り長く続けていきたい」と話していました。



◎広見中学校改築工事起工式



広見中改築工事の
安全を祈る

1月14日、広見中学校の敷地で、広見中学校改築工事起工式が行われました。

式には、学校関係者や工事関係者ら33人が出席。兵頭町長は「事業者の皆さんには、愛着のある学校に対する町民の思いもしっかりと受け止めていただき、素晴らしい竣工に導いてほしい」と挨拶しました。

◎児童クラブ土鈴づくり



土鈴づくりで
溢れる個性

1月7日、鬼北町児童クラブで、わかば作業所の職員を講師に迎えた毎年恒例の土鈴づくりが行われました。

参加した児童たちは、アクリル絵の具を使って真っ白な虎の土鈴に花や虎柄などを描き、思い思いの作品を完成させていました。